

## 西武キャッシュカード(法人用)規定

### 1. カードの利用

普通預金または利息を付さない旨のある普通預金(以下「預金」といいます。)について発行した西武キャッシュカード(以下「カード」といいます。)は、当該預金口座について、次の場合に利用することができます。また、預金に預入れることを専用に発行したカード(以下、預金の払戻しおよび振込資金の預金口座からの振替えによる払戻しについて定める部分を除き「カード」に含みます。)は、当該預金口座について、次の第1号の場合に限り利用することができます。

- (1) 当金庫および当金庫がオンライン現金自動預金機の共同利用による現金預入業務を提携した金融機関等(以下「預入提携先」といいます。)の現金自動預金機(現金自動預入払出兼用機を含みます。以下「預金機」といいます。)を使用して普通預金または貯蓄預金(以下これらを「預金」といいます。)に預入れをする場合。
- (2) 当金庫および当金庫がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関等(以下「支払提携先」といいます。)の現金自動支払機(現金自動預入払出兼用機を含みます。(以下「支払機」といいます。))を使用して預金の払戻しをする場合。
- (3) 当金庫および支払提携先のうち当金庫がオンライン現金自動支払機の共同利用による振込業務を提携した金融機関(以下「振込提携先」といいます。)の自動振込機(振込を行うことができる現金自動預入払出兼用機を含みます。以下「振込機」といいます。)を使用して振込資金を預金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合。
- (4) 当金庫の預金機を使用して預入資金を預金口座からの振替により払戻し、当金庫の総合口座取引の定期預金または通帳式定期預金(対象とする定期預金の金額・種類等は、当金庫が定めるものとします。)、定期積金、普通預金、貯蓄預金、納税準備預金に預入れをする場合。
- (5) その他預金機、支払機および振込機利用時に画面に表示される取引をする場合。
- (6) 当金庫本支店および提携先に設置された預金機または支払機でのみ利用することができます。

### 2. 預金機による預金の預入れ

- (1) 預金機を使用して預金に預入れをする場合には、預金機の画面表示等の操作手順に従って、預金機にカード(または通帳)を挿入し、現金を投入して操作してください。
- (2) 預金機による預入れは、当金庫の預金機に表示された紙幣および硬貨に限ります。また、1回あたりの預入れは、紙幣200枚、硬貨は100枚(ただし土日休日および硬貨の取扱いのない預金機は除きます。)による金額の範囲内とします。なお、預入提携先については、提携先の定める紙幣の種類、枚数、金額とします。

### 3. 支払機による預金の払戻し

- (1) 支払機を使用して預金の払戻しをする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に従って、支払機にカードを挿入し、届出の暗証番号と金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。
- (2) 当金庫の支払機による払戻しは、1円単位(ただし土日休日および硬貨の取扱いのない支払機は千円単位)とし、1回または1日あたりの払戻限度額は MS カード、IC カードは50万円、生体認証 IC カードは200万円とします。支払提携先の払戻単位、1回および1日あたりの払戻金額は提携先の定める単位、金額とします。

- (3) 前項にかかわらず、当金庫、提携先の支払機による1日あたりの払戻しについて当金庫が代表者から当金庫所定の方法により届出を受けた場合には、その届出の金額の範囲内とします。
- (4) 支払機を使用して預金の払戻しをする場合に、払戻請求金額と第6条第2項に規定する自動機利用手数料金額との合計額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。

#### 4. 預金機による定期預金等の預入れ

当金庫の預金機を使用して預入資金を預金口座から振替えにより払戻し、定期預金、定期積金、普通預金、貯蓄預金、納税準備預金に預入れをする場合には、預金機の画面表示に従って、預金機に預入預金通帳を挿入したうえ、画面表示の操作手順によりカードを挿入し、届出の暗証番号・金額を正確に入力してください。この場合における預金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。

#### 5. 振込機による振込

- (1) 振込機を使用して振込資金を預金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に従って、振込機にカードを挿入し、届出の暗証番号その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における預金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。
- (2) 前項の振込依頼をする場合に1日の振込限度額は200万円(生体認証ICカードは1,000万円)とします。なお、提携先の1回および1日あたりの振込限度額は200万円かつ提携先の定める金額の範囲内とします。
- (3) 前項にかかわらず、第1項の振込依頼をする場合における当金庫の振込機による1日あたりの振込について当金庫が代表者から当金庫所定の方法により届出を受けた場合には、その届出の金額の範囲内とします。

#### 6. 自動機利用手数料等

- (1) 預金機を使用して預金に預入れをする場合には、当金庫または提携先所定の方法により表示する預金機の利用に関する手数料をいただきます。
- (2) 支払機または振込機を使用して預金の払戻しをする場合には、当金庫または提携先所定の方法により表示する支払機・振込機の利用に関する手数料(前項の手数料とこの手数料を総称して以下「自動機利用手数料」といいます。)をいただきます。
- (3) 自動機利用手数料は、預金の預入れおよび払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その預入れ・払戻しをした預金口座から自動的に引落します。なお、提携先の自動機利用手数料は、当金庫から提携先に支払います。
- (4) 振込手数料は、振込資金の預金口座からの払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その払戻しをした預金口座から自動的に引落します。なお、提携先の振込手数料は、当金庫から提携先に支払います。

#### 7. 預金機・支払機・振込機故障時等の取扱い

- (1) 停電、故障等により預金機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当金庫本支店の窓口でカードにより預金に預入れをすることができます。なお、定期預金についてはこの取扱いはしません。
- (2) 停電、故障等により支払機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当金庫が支払機故障時等の取扱いとして定めた金額を限度として当金庫本支店の窓口でカードにより預金の払戻しをすることができます。なお、定期預金についてはこの取扱いはしません。
- (3) 前記第1項、第2項による預入れおよび払戻しをする場合には、カードを提出し、当金庫所定の入金票にカードの口座番号、法人名、代表者名、金額を記入のうえ、または当金庫所定の払戻請求書にカードの口座番号、法人名、代表者名、金額を記入のうえ、当金庫所定の手続きに従ってください。この場合、払戻請求書に住所、電話番号等の記入を求めることがあります。
- (4) 停電、故障時により振込機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、前記第2項によるほ

か振込依頼書を提出することにより振込の依頼をすることができます。

## 8. カードによる預入れ・払戻し金額等の通帳記入

カードにより預入れた金額、払戻した金額、自動機利用手数料金額または振込手数料金額の通帳記入は、通帳が当金庫の預金機、支払機、振込機および通帳記帳機で使用された場合または当金庫本支店の窓口に出された場合に行います。また、窓口でカードにより取扱った場合にも同様とします。なお、預入れまたは払戻した金額とは別に、自動機利用手数料金額、および振込手数料金額はその合計額をもって通帳に記入します。

## 9. カード・暗証番号の管理等

- (1) 当金庫は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードが、当金庫が代表者に交付したカードであること、および入力された暗証番号と届出の暗証番号とが一致することを当金庫所定の方法により確認のうえ預金の払戻しを行います。
- (2) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証番号は法人または代表者の電話番号等の他人に類推されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに代表者から当金庫に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる預金の払戻し停止の措置を講じます。
- (3) カードの盗難にあった場合には、当金庫所定の届出書を当金庫に提出してください。

## 10. 偽造カード等による払戻し

カードが偽造または変造により不正使用され生じた払戻しにかかる損害については、当金庫、提携先は責任を負いません。

## 11. 盗難カードによる払戻し

カードが盗難されたことにより不正使用され生じた払戻しにかかる損害については、当金庫、提携先は責任を負いません。

## 12. カードの紛失、届出事項の変更等

カードを紛失した場合または法人名、代表者名、その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに代表者から当金庫所定の方法により当金庫に届出てください。この届出の前に、届出を行わなかったことにより生じた損害については、当金庫は責任を負いません。

## 13. カードの再発行等

- (1) カードの盗難、紛失等の場合のカードの再発行は、当金庫所定の手続きをした後に行います。この場合、相当の期間をおき、また保証人を求めることがあります。
- (2) カードを再発行する場合には、当金庫所定の発行手数料をいただきます。

## 14. 預金機・支払機・振込機への誤入力等

- (1) 預金機・支払機・振込機の使用に際し、金額等の誤入力により発生した損害については、当金庫は責任を負いません。なお、提携先の預金機・支払機・振込機を使用した場合の提携先の責任についても同様とします。
- (2) カードによる窓口での預金の預入れまたは払戻しをする際に、当金庫所定の入金票または払戻請求書への金額等の誤記入により発生した損害については、当金庫は責任を負いません。

## 15. 解約、カードの利用停止等

- (1) 預金口座を解約する場合またはカードの利用を取りやめる場合には、そのカードを当金庫に返却してください。また、当金庫普通預金規定により、預金口座が解約された場合にも同様に返却してください。
- (2) カードの改ざん、不正使用など当金庫がカード利用を不適当と認めた場合には、その利用をおことわりすることがあります。この場合、当金庫からの請求がありしだい直ちにカードを契約店に返却してください。

(3) 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。この場合、契約店の窓口において当金庫所定の代表者確認書類の提示を受け、当金庫が代表者であることを確認できたときに停止を解除します。

①第16条に定める規定に違反した場合

②預金口座に関し、最終の預入れまたは払戻しから当金庫が別途表示する一定の期間が経過した場合

③カードが偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当金庫が判断した場合

#### 16. 譲渡、質入れの禁止

カードは譲渡、質入れまたは貸与することはできません。

#### 17. 規定の適用

この規定に定めのない事項については、当金庫普通預金規定および西武振込規定により取扱います。

#### 18. 規定の変更等

(1) この規定の各条項その他条件は、金融情勢その他諸般の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、当金庫ホームページその他相当の方法で変更内容および変更日を公表することにより、変更できるものとします。

(2) 前項の変更は、公表の際に定める相当の期間を経過した日から適用されるものとします。

以上